

西区自治協議会の委員の公募に関する要領の改正について

1 改正対象

西区自治協議会の委員の公募に関する要領

2 改正理由

公募委員の人数の見直しによるもの

3 改正根拠

新潟市区自治協議会条例施行規則第3条第6項

推薦会議の運営その他必要な事項については、区自治協議会が定める。

4 主な変更点

第2条第1項

現行	改正（案）
・西区自治協議会の公募委員の人数は、 <u>3人</u> とする。	・西区自治協議会の公募委員の人数は、 <u>3人以内</u> とする。

5 施行期日

令和6年12月25日

西区自治協議会の委員の公募に関する要領（案）

○改正内容及び新旧対照表

- ・公募委員の人数の見直しに伴う修正

新	旧
(趣旨) 第1条 (略)	(趣旨) 第1条 (略)
(公募委員人数) 第2条 西区自治協議会の公募委員の人数は、 <u>3人以内</u> とする。 2 (略)	(公募委員人数) 第2条 西区自治協議会の公募委員の人数は、 <u>3人</u> とする。 2 (略)
(応募資格) 第3条 (略)	(応募資格) 第3条 (略)
(応募方法) 第4条 (略)	(応募方法) 第4条 (略)
(推薦会議) 第5条 (略)	(推薦会議) 第5条 (略)
(選考方法) 第6条 (略)	(選考方法) 第6条 (略)
附則 (略)	附則 (略)
附則 <u>この要綱は、令和6年12月25日から施行する。</u>	

西区自治協議会の委員の公募に関する要領（案）

（趣旨）

第1条 この要領は、新潟市区自治協議会条例（平成18年新潟市条例第74号）に基づき西区に設置する、西区自治協議会の委員の公募について、必要な事項を定める。

（公募委員人数）

第2条 西区自治協議会の公募委員の人数は、3人以内とする。

2 応募者がいない場合又は選考の結果適任者がいなかった場合は、公募委員は、欠員とすることができる。

（応募資格）

第3条 公募により委員に応募できる者は、委員委嘱予定日において、次の各号のいずれにも該当する者とする。

- （1） 行政区内に住所を有する満18歳以上の者
- （2） 本市が設置する他の附属機関等の委員ではない者
- （3） 本市の職員及び市議会議員ではない者
- （4） 西区自治協議会の公募委員として、過去に2期（1期2年）活動したことの無い者

（応募方法）

第4条 応募者は、住所、氏名、電話番号及び生年月日を記載したものに小論文（作文）及び活動歴を添えて、郵送、ファックス、E-mail等により応募するものとする。

（推薦会議）

第5条 公募委員の選考は、新潟市区自治協議会条例施行規則（平成19年新潟市規則第20号）第3条第1項に規定により設置する、西区自治協議会委員推薦会議（以下「推薦会議」という。）が行う。

（選考方法）

第6条 公募委員の選考は、推薦会議において小論文（作文）及び活動歴を審査し、構成員の合議により行うこととし、必要に応じて、面接その他適当と認める方法による審査等をあわせて行うことができるものとする。

附 則

この要領は、平成20年12月9日より施行する。

附 則

この要領は、平成22年12月15日より施行する。

附 則

この要領は、平成24年12月6日より施行する。

附 則

この要領は、平成26年12月5日より施行する。

附 則

この要領は、平成28年12月13日より施行する。

附 則

この要領は、平成30年12月7日より施行する。

附 則

この要領は、令和2年9月29日より施行する。

附 則

この要領は、令和6年12月25日より施行する。